

# 2026年 米国中間選挙
# 総合情勢分析

第2期トランプ政権への信任投票 – 2026年11月3日実施

### 📋 対象議席

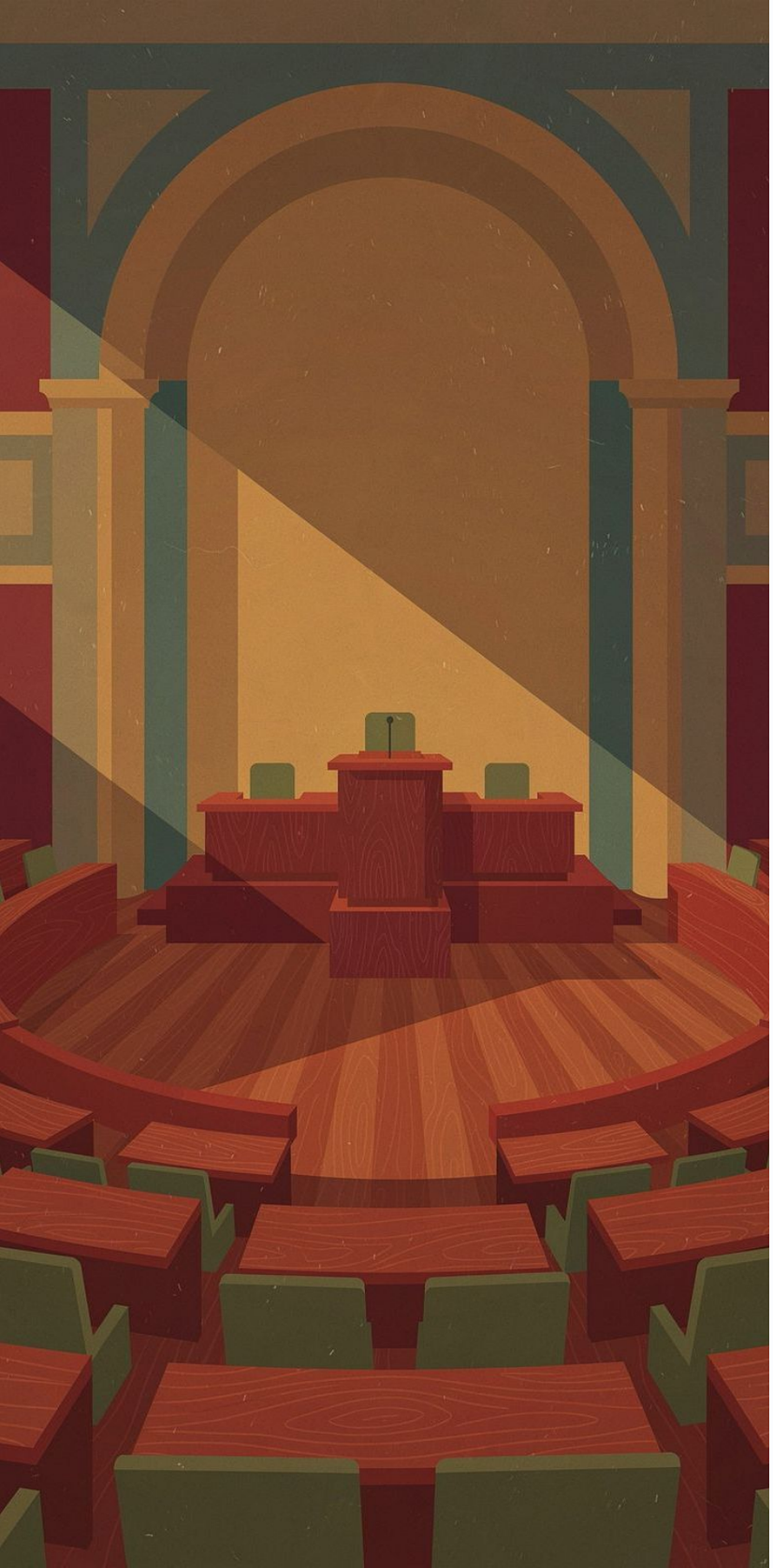
下院全435議席
＋ 上院35議席

### 📊 現状勢力

共和党
下院220 / 上院53 議席

### 🔮 大勢予測

民主党が下院奪還濃厚
上院も接戦



# 全米議席勢力図と予測

### 🏛️ 下院（435議席）

共和党 **220** 議席 ／ 民主党 **215** 議席

過半数ライン：**218議席**

民主党は純増 **3議席** で過半数奪還

### 🏛️ 上院（100議席）

共和党 **53** 議席 ／ 民主党 **47** 議席

過半数ライン：**51議席**

民主党は純増 **4議席** で過半数奪還

**20/22回**

与党が議席減少

1938年以降、大統領与党が下院議席を減少させた回数

**▲28議席**

平均喪失数（下院）

中間選挙における与党の平均議席喪失数

**75〜80%**

下院奪還確率

エコノミスト誌による民主党の下院過半数奪還確率

# 上院主要激戦州の票読み

### 🤠 テキサス州

**判定：**接戦（Toss-up）

**共和：**パクストン／**民主：**タラリコ

1988年以来の民主奪還の可能性

### 🌲 ノースカロライナ州

**判定：**民主やや有利（Lean D）

**共和：**共和党候補／**民主：**クーパー元知事

選挙費用最大8億ドル規模

### ⚡ オハイオ州（補欠）

**判定：**接戦（Toss-up）

**共和：**ハステッド／**民主：**ブラウン

ブラウンが48-44でリード

### 🦞 メイン州

**判定：**接戦（Toss-up）

**共和：**コリンズ／**民主：**ミルズ元知事

穏健派コリンズの牙城が崩れる

### 🚗 ミシガン州

**判定：**接戦〜民主やや有利

**共和：**ロジャーズ／**民主：**エル・サイード

進歩派候補が予備選を制す

### 🐻 アラスカ州

**判定：**共和やや有利（Lean R）

**共和：**サリバン／**民主：**ペルトラ

優先順位投票（RCV）が鍵

民主党が4州以上奪取すれば上院過半数奪還

# 下院激戦区の動向

**約30区**

秋時点のトスアップ区数

当初18区から拡大

**36名**

引退する共和党議員数

**22名**

引退する民主党議員数

### 🗺️ 激戦区の集中地域

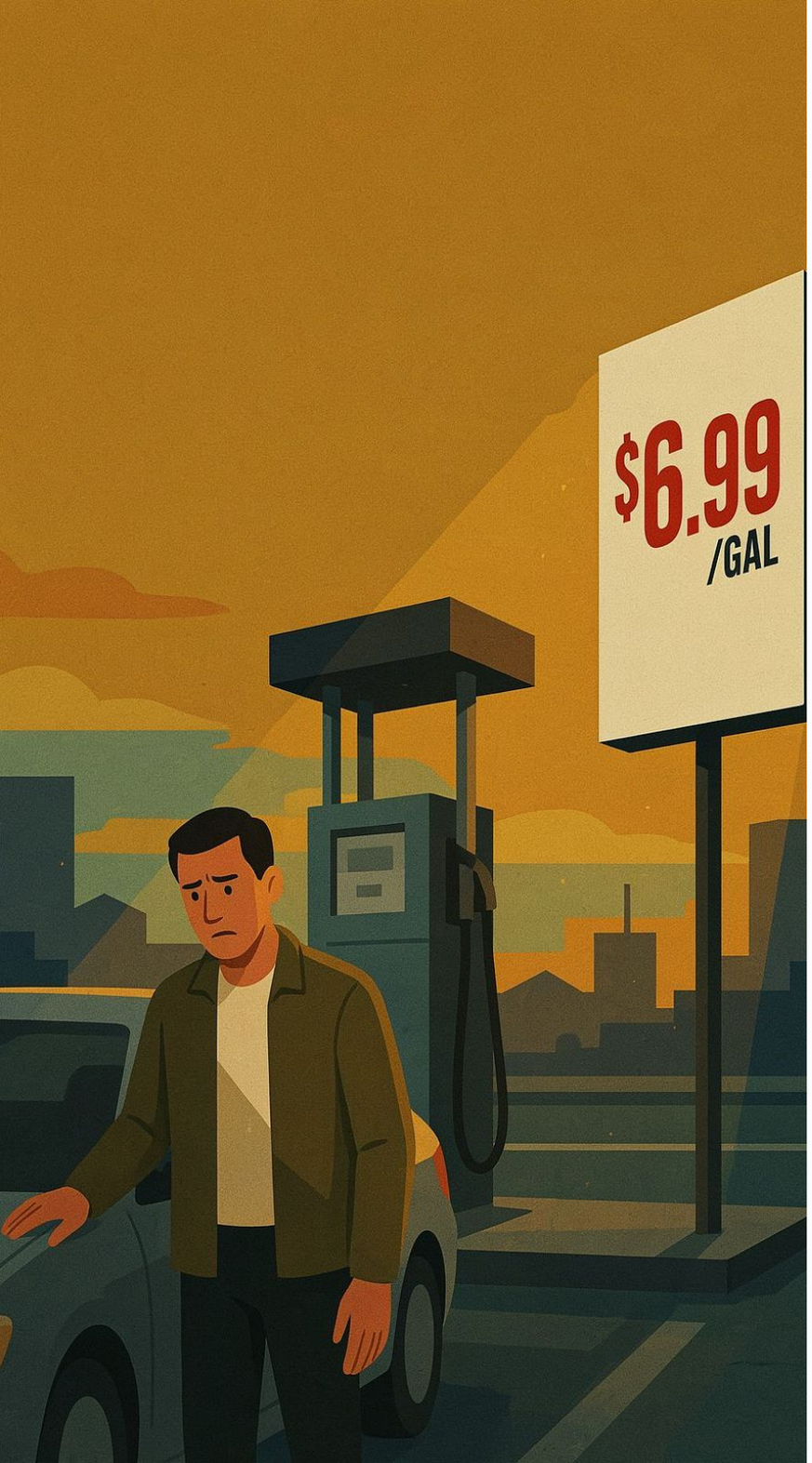
ペンシルベニア・ミシガン・アリゾナ・カリフォルニアの大都市近郊に集中。トスアップ区は当初18区から**約30区**へ拡大。

### ⚖️ ゲリマンダーの攻防

カリフォルニア：民主党優位の新区割りを施行。テキサス：共和党主導で自党有利区を約**5区増加**（連邦地裁は違法判決も最高裁が暫定適用を容認）。

### 🚪 引退者の偏りが民主に有利

共和党**36名**・民主党**22名**が引退。穏健派共和党議員の離脱により民主党の議席奪取確率が上昇。




# 選挙を左右する構造的要因

### 🛒 生活費の高騰

有権者の**37%**が「インフレと生活費」を最優先課題に挙げる。カナダへの**50%関税**に登録有権者の56%が反対。

### ⛽ エネルギー価格の急騰

米・イスラエルとイランの衝突でブレント原油が**1バレル100ドル超**。全米平均ガソリン価格が約**1ドル上昇**、農村部ではディーゼルが**6ドル**を記録。

### 📉 大統領支持率の低迷

トランプの職務支持率は各種調査で**33〜38%**。「5,000ドル配当金」構想（総額1.2兆ドル）を表明するも、国民の**63%**が否定的に評価。

### ⚖️ 最高裁の郵便投票差し止め

最高裁が2026年9月、政権の郵便投票制限規制の適用を差し止め。有権者の約**3分の1**が利用する郵便投票が従来通り実施されることが確定。

# メディア報道と論評の構図

### 📰 ワシントン・ポスト

論調：**政権批判**

共和党員の「経済が改善した」との回答が**72%→29%**に暴落。政権の経済的信頼性が根底から崩壊していると論評。

### 📺 フォックス・ニュース

論調：**保守擁護**

進歩派エル・サイードの予備選勝利を「民主党が急進的社会主義者に主導権を明け渡した」と報道。保守層の危機感を煽る論調を展開。

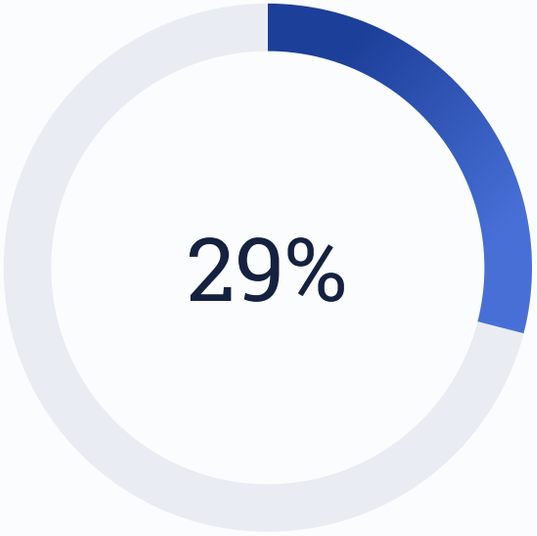
### 📊 WSJ・AP通信

論調：**経済分析**

AI業界による**2億6,500万ドル**の政治献金と地域住民の反発を分析。民主党が文化戦争から経済実利主義への転換を図っていると指摘。

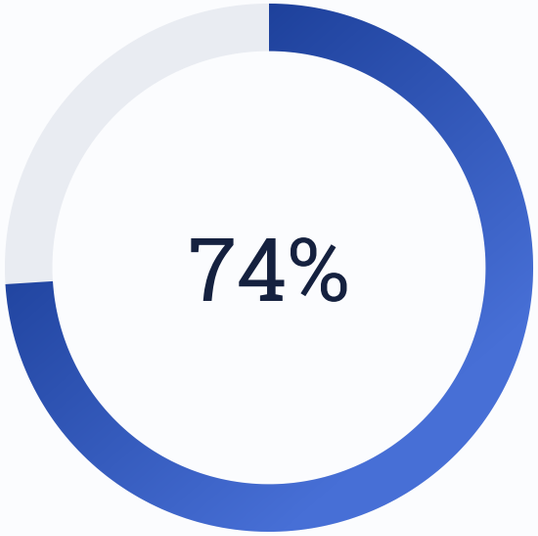
メディアの論調は二極化しているが、**経済不満が共通の報道テーマ**となっている

# ソーシャルメディアと有権者世論



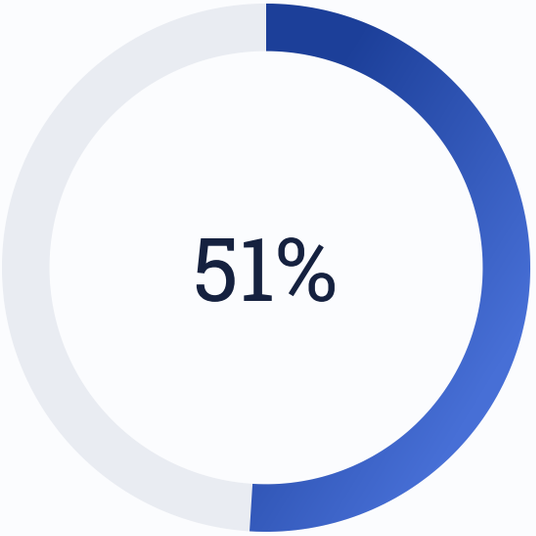

### SNSで政治ニュースを入手

地上波TV（17.4%）を初めて上回る（Adtaxi調査）




### 進歩派移行・若年層の投票意向率

保守化した層（55%）・中道化した層（44%）を大きく上回る




### SNSを「偽情報の最大供給源」と認識

一方、SNSを最も信頼できる情報源とする有権者はわずか9%

### 👥 世代・性別間の分極化

タフツ大学CIRCLE調査によると、18〜29歳の**3分の2**が「近年、政治的見解が変化した」と回答。進歩派に移行した層（28%）は保守化した層（15%）の約2倍。

### 📱 草の根の怒りとアルゴリズム

グリーンベイの家賃高騰を嘆くTikTok動画が**数百万人規模**に拡散。政治グループが月額1,500ドルでクリエイターを雇用し、生活費危機の体験談を発信させる動きも活発化。

# 選挙結果シナリオ別の影響

### 🔵🔴 シナリオ①：ねじれ議会【蓋然性：高】

**下院：民主党 / 上院：共和党**

- 下院民主党が予算・調査権を掌握
- トランプは関税・大統領令に権限を集中
- 上院共和党は保守派判事指名を継続
- 市場は政策急変が封じられ安定

### 🔵🔵 シナリオ②：民主党完全奪還【蓋然性：中】

**下院・上院ともに民主党**

- 政権は完全なレームダック状態に
- 大統領の通商権限制限法案を推進
- 弾劾訴追が現実的な選択肢に（罷免には67議席必要）
- 法人増税・規制強化リスクで株式市場に下落圧力

### 🔴🔴 シナリオ③：共和党完全維持【蓋然性：低】

**下院・上院ともに共和党**

- 2017年減税（TCJA）の恒久化
- 5,000ドル配当金の法制化
- スケジュールFの全面運用
- 財政赤字が急拡大、長期金利上昇リスク

# シナリオ別・政策分野への影響

| 政策分野 | ①ねじれ議会（高） | ②民主完全支配（中） | ③共和完全維持（低） |
|---|---|---|---|
| 🔍 **議会調査・弾劾** | 下院委員会による徹底的な監視・召喚状行使 | 合同調査＋下院での弾劾訴追が現実化 | 議会調査は完全に抑え込まれ政権擁護体制が継続 |
| 💰 **税制・財政** | 2017年減税延長をめぐり激突。政府閉鎖リスク増大 | 富裕層・企業増税を要求。社会保障支出を防衛 | 予算調整措置で減税恒久化。財政赤字が急拡大 |
| 🚢 **通商・関税** | 下院が見直し要求も大統領拒否権で強硬路線継続 | 大統領の通商権限を制限する法案を推進 | 一律全面関税の恒久化・拡大。経済ナショナリズム強化 |
| 📈 **株式・金融市場** | 政策急変が封じられ市場が最も好む環境（中間後6カ月で+8〜9%） | 法人増税・規制強化リスクでハイテク・エネルギー株に下落圧力 | 減税期待で初期急騰も長期金利上昇とインフレ再燃が重石 |

# 総括：民主党優位、上院も揺らぐ

**33〜38%**

トランプ支持率

歴史的低水準

**75〜80%**

下院奪還確率

エコノミスト誌予測

**4州**

上院過半数奪還

民主党の必要奪取州数

1 懲罰圧力が最大化

トランプ支持率が**30%台半ば**まで低下し、大卒郊外票の民主党シフトが歴史的傾向を増幅。

2 経済争点が支配

ガソリン・ディーゼル高騰と関税発動が「経済管理に強い共和党」という信用基盤を崩壊させている。

3 共和党の金城湯池が崩落

テキサス・オハイオ・ネブラスカで想定外の防衛資金拠出を強いられ、全国的なリソース配分が逼迫。

最終的な決着は、投票日直前の原油価格動向・郵便投票の若年層投票率・郊外激戦区の浮動票に左右される。いずれのシナリオでも、後半2年間は**立法麻痺と激しい議会調査**が交錯する極めて不安定な政治環境となることが確実視される。

